平成 23 年度事後評価・決算

事務事業マネジメントシート

事務事業名	森林整備加速化·林業再生事業	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
政策名	総 〈V〉賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G	森林バイオマスグ ループ	課長名	高野耕治
NEX 1		担当者名	佐藤伊知郎		0854-40-1051 3703
基本事業名	体系 〈102〉適切な保育管理	予算 科目	h		森林整備加速化·林業 再生事業

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
	して事業計画に基づく合権事業を実施する。 市は市有林・市行道林地において保育・間伐等を行うとともに、作業路網の整備、森林病害虫防除対策を実施することで森林の適正な管理を行う。	帯の野は中有体について、除間は、作業路網の整備の計画を立て事業を実施した。
		┃21年度┃22年度┃23年度┃24年度┃25年度┃ 全体 ┃

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)

- 保育事業委託費
- ·除間伐等 52.55ha 11,632千円
- ·中核·基幹作業道 6,370m 94,210千円
- ·作業路開設 8,144m 12,972千円
- ·森林病害対策 227m3 2,835千円

②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)

- ①森林の状況確認②事業の計画・設計・発注③事業の完了検査。
- ④補助金申請。⑤地域協議会参加

			単位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)	計画
	財	国庫支出金	千円						
事		県支出金	千円	2,250	26,322	121,146	9,200	9,200	177,318
業		地方債	千円						
考費		その他	千円						
貝		一般財源	千円	1	20	503	2,800	2,800	8,924
	事	業費計(A)	千円	2,251	26,342	121,649	12,000	12,000	186,242
人	正规	現職員従事人数	人	4	4	4			
件	7 5	延べ業務時間	時間	120	480	600			
費	•	人件費計(B)	千円	458	1,866	2,365	0	0	0
 -	ータ	ルコスト(A)+(B)	千円	2,709	28,208	124,014	12,000	12,000	186,242

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

	23年度実績(23年度に行った主な活動)
手	市有林整備(除間伐、路網整備、ナラ枯れ対策) ①現場状況確認②事業発注・実施③事業完了検 査④補助金申請⑤協議会参加
段	

24年度計画(24年度に計画している主な活動) 市有林等整備(除間伐、中核作業道、基幹作業 道、作業路整備、森林病害虫対策)

①現場状況確認②事業発注•実施③事業完了検 查④補助金申請⑤協議会参加

⇉	指標名		単位	21年度	22年度		24年度	25年度	最終	
1	<u>5</u>	活動指標	丰四	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
	ア	事業の発注件数	件	1	15	29	10	10	10	
	イ	市有林の整備面積	ha	9	32	53	20	20	20	
	ウ	作業路網開設延長	m	0	1,136	8,144	2,000	2,000	2,000	
	I									
	オ									

	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	H	6	指標名 対象指標	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度(目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	雲南市市有林・市行造林、市内森林		ア	市有林•市行造林地面積	ha	750	742	742	742	742	742
E			イ								
h.	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)		7	成果指標							
н			ア	市有林の整備面積(累計)	ha	9.00	41.29	93.84	113.84	133.84	153.84
	雲南市有林及び民有林の適正な保育・管理及び利用		イ	市有林路網整備延長(累計)	m	0	1,136	9,280	11,280	13,280	15,280
			ウ								
上	- ④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)		8.	上位成果指標							
位	森林を適正に保全する。		ア	間伐実施面積	ha	639	442	530	590	650	700
的			1								

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻くり	(況(対象者や根拠法令等)は
どう変化しているか?	開始時期あるいは5年前と
比べてどう変わったのが	か?

森林整備は県の造林補助金によるところが多いが、県 の財政難により計画的な森林整備が難しい状況が続い てきた。本事業開始により市内森林整備及び路網の開 設は以前と比較して進んできているが、未整備森林及 び路網未開設の森林が多数存在する。市内森林の多く が伐期を迎えているため、更なる路網整備及び利用間 伐が必要となっている。

②この事務事業に関する これまでの改革改善の取り組み経緯

県が中心となり協議会で事業運営するこ とで各事業体での連携が図られている。

③この事務事業に対して関係者 (市民、議会、事業対象者、利害関係者等)から どんな意見や要望が寄せられているか?

林業事業体からは事業の継続が望まれている。

雲南市(H22年4月改正版)ver.1.1

				林業再生事業		産業振興部	所属課	農林振興課
2			伍.	、ただし複数年度事業し				
B	①政策体系との整 この事務事業の目的 策体系に結びつくか が結果に結びついて	りは市(町)の政 ・? 意図すること		見直し余地がある ⇒【 結びついている ⇒【 除間伐、路網整備等は、「	理由】与			に反映
的妥当性	② 公共関与の妥:	当性 町)が行わなけ 税金を投入し		見直し余地がある ⇒【 妥当である ⇒【 対象は市有林であり、市の	理由】与			に反映
	③ 対象・意図の妥 対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか	3 当性 べきか?意図を		見直し余地がある ⇒【 適切である ⇒【 対象は市有林を対象とし	理由】与			に反映
	④ 成果の向上余 成果を向上させる余 成果の現状水準とあ 差異はないか?何か 上が期待できないの	地はあるか? るべき水準との が原因で成果向			理由】「	⇒3 今後の方 [
有効性	⑤ 廃止・休止の成果への影響 国事務事業を廃止・休止した場会の影響			影響無 ⇒【理由】 ラ 影響有 ⇒【その内容 市有林の荒廃及び環境の] 🧇	⇒3 今後の方[に反映
性評価	6 類似事業との総					手段,事務事業)		
Щ	可能性 目的を達成するには 以外他に方法はない との統廃合ができる の連携を図ることに、 上が期待できるか?	いか?類似事業 か?類似事業と より、成果の向		 統廃合・連携ができる 統廃合・連携ができる 類似事業はない。 他に手段がない ⇒【	ない ⇒【理 理由】 ♪	推】 →	今後の方向性・	改革改善に反映
効率性	⑦ 事業費の削減: 成果を下げずに事業 ないか?(仕様やエ 民の協力など)	き費を削減でき きの流エル・は		削減余地がない ⇒【	理由】 理由】 理由】 で 実施してお		方向性・改革で 難しい。	女善に反映
住評価	民の協力など) ③ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か?成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?			削減余地がある ⇒【 削減余地がない ⇒【 専門的な知識が必要とな	理由】 つ 理由】 つ り、委託等に		方向性・改革 の	
性評	⑨ 受益機会・費用 化余地 事業内容が一部の いて不公平ではない 担が公平・公正か?	受益者に偏って		見直し余地がある ⇒【 公平・公正である ⇒【 市有林を対象として実施し	理申】之		方向性・改革の	女善に反映
		-今後の方向性	()	マ年度計画と予算への.	反映)(PLA	N)		
)1次評価者として					体総括(振り返	り、反省点)	
	① 目的妥当性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性	☑ 適切 ☑ 適切 ☑ 適切		□ 見直し余地あり ☑ 見直し余地あり □ 見直し余地あり □ 見直し余地あり	等応令	が必要であるがが十分でない。	、予算不足と明 はや事業効率化	、伐期を迎えており利用間伐 記状把握が十分でないため対 このため森林状況の把握に努 更に進めたい。
	に進めたい。	□目的再設 有効性改善) 公平性改善) 公平性改善) や事業効率化	定のた	□ 事業統廃合・連携 □ 事業のやり方改善 □ 現状維持(従来通 □ 現状維持(従来通	会(効率性改 りで特に改 努め、利用	革改善をしない)		4) 改革・改善による期待成果
	伐期を迎えている希	森林など保育・「 森林組合等と連	間付 携し	して森林情報の把握に	々あるが、「			把握ができていないことが課 進を実施していく必要がある。

雲南市(H22年4月改正版)ver.1.1